

飛鳥宮跡の変遷

	天皇正宮			その他の宮		
	飛鳥以外の宮		飛鳥諸宮	飛鳥以外の宮		
	豊浦宮	小墾田宮	百濟宮	飛鳥岡本宮	飛鳥板蓋宮	後飛鳥岡本宮
推古	592	603				
舒明				630	I期遺構	636
皇極	642	641		643	II期遺構	640
孝徳				645	(難波遷都)	653
斉明	(瓦葺)			655	火災	656
天智				656	III-A期遺構	667
天武	(兵庫)			672	III-B期遺構	672
持統				694		

図5・飛鳥諸宮の変遷
『日本書紀』にみえる7世紀の宮の変遷を図にしたもの。
正宮のうち「飛鳥」を冠するものがI期～III期遺構に該当し、継続的に営まれたことがわかる。

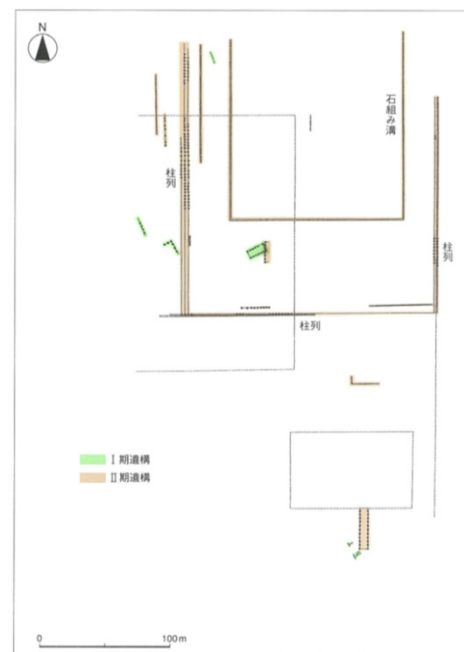


図6・I期・II期遺構図
方位が北で西へ20度ほど振れている遺構がI期遺構、東西南北に方位をあわせた遺構がII期遺構である。どちらも検出事例が少ないが、I期遺構と重複していて、同じ場所に繰り返し宮が営まれたことがわかる。



図12・III期遺構(斉明朝)
内郭が宮の中核部で、南北2つの区画に分かれている。
南北で建物の構成や地面の舗装方法などが異なっていて、施設の性格に違いがあったことがわかる。

出典:新泉社 鶴見泰寿著「古代国家形成の舞台 飛鳥宮」

文化財(史跡)指定の状況

名称 飛鳥宮跡
所在地 明日香村大字岡
指定年月日 昭和47年4月10日
平成28年10月3日 名称変更
(伝飛鳥板蓋宮跡→飛鳥宮跡)

第I期遺構: 飛鳥岡本宮

- 舒明天皇が造営した宮跡
- 掘立柱建物跡、掘立柱塀跡、石敷、石組溝など
- 自然地形に合わせ、方位が北で20度西へ振れている

第II期遺構: 飛鳥板蓋宮

- 皇極天皇が造営した宮跡
- I期遺構の跡地を造成して正方位に造られている
- 回廊状の方形区画で、第III期の内郭よりも大規模な区画を持つ
- III期遺構の下層にあるため詳細は不明

第III期遺構: III-A期 後飛鳥岡本宮

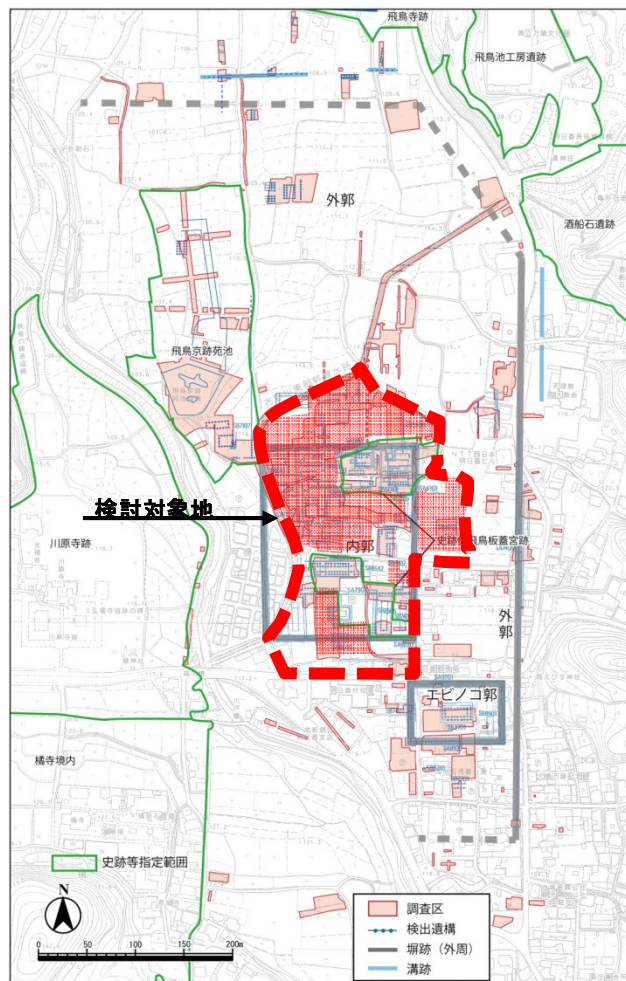
- 斉明天皇が造営した宮跡
- 東西152～158m、南北197mの内郭を中心に、南北約800m(推定)、東西約300～450mの外郭がある
- 内郭の周囲は屋根付きの掘立柱塀が囲み、内郭南よりに位置する東西方向の掘立柱塀によって南と北の区画に分かれる
- 内郭南区画では、内郭全体の正門となる南門、南北建物等が検出されている
- 内郭北区画では、二つの大型建物(南の正殿、北の正殿)の他、多くの掘立柱建物が確認されている

第III期遺構: III-B期 飛鳥浄御原宮

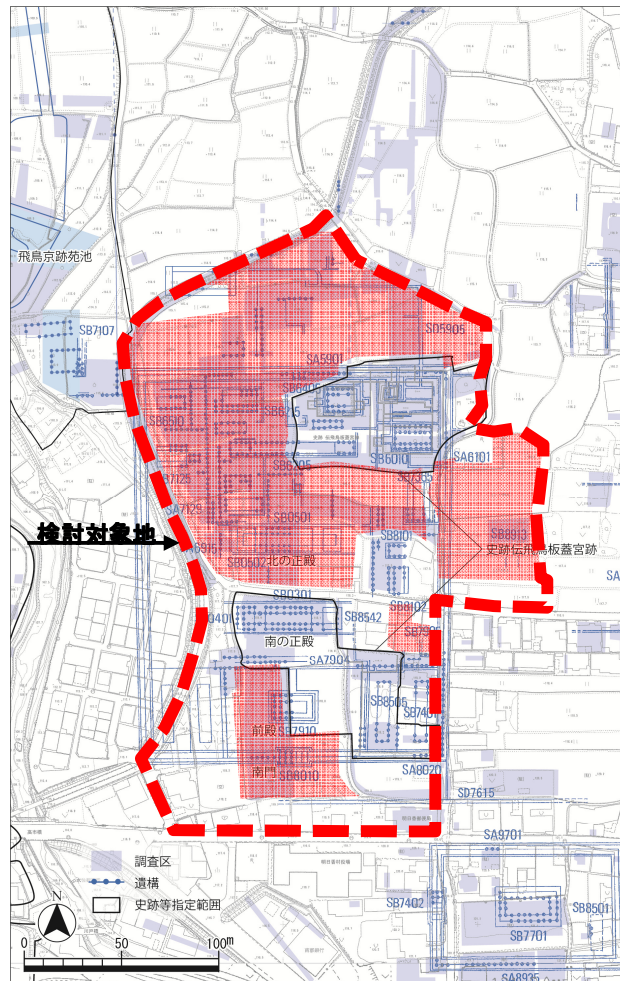
- 天武天皇・持統天皇の宮跡
- III-A期の施設に加え、内郭南東に新たな区画(エビノコ郭)を造営
- 東西約94m、南北約55mの一本柱塀に囲まれた区画の中央に飛鳥宮跡最大規模のエビノコ大殿がある

飛鳥宮跡 発掘調査の概要

発掘調査箇所と検出遺構



Ⅲ期内郭及びエビノコ郭遺構分布



平成28年3月史跡追加指定の範囲

飛鳥宮跡の発掘

- 飛鳥宮跡の発掘調査は、昭和29年（1954）の大和平野灌漑用導水路の建設計画に端を発する。
- 昭和34年（1959）には予備調査を奈良国立文化財研究所（現奈良文化財研究所）が行い、昭和35年（1960）以降は檀原考古学研究所が発掘調査を担当。
- 檀原考古学研究所により、平成28年（2016）までに179次にわたる調査が行われている。

■主な発掘調査の概要■

1959	東西方向一本柱列（北一本柱列）、溝三条などを検出。重要遺構のことが判明	奈文研
1960	内郭北東部から方形区画敷石（第4次で井戸跡と判明）を検出	檀考研
1961	内郭の東面掘立柱（東一本柱列）を確認	檀考研
1962	下層のⅡ期宮殿遺構を検出	檀考研
1967	下層のⅠ期宮殿遺構を検出。飛鳥宮跡において初めて木簡が出土	檀考研
1975	南北の掘立柱塼及び石組溝を検出。外郭を画する施設の確認	檀考研
1976	Ⅲ期外郭遺構の下層から「白髪部五十戸」「大花下」「小乙下階」等木簡が出土	檀考研
1977	エビノコ大殿（東西9間、南北5間）の検出	檀考研
1979	内郭南区画で大型掘立柱建物（前殿、東西7間、南北4間）の検出	檀考研
1980	内郭の南門を確認し、内郭の形状と規模を確定	檀考研
1985	Ⅲ期外郭東面掘立柱塼に接して「辛巳年」、「大津皇」、「太来」、「大友」などの木簡が出土	檀考研
1989	エビノコ大殿の南面掘立柱塼の検出	檀考研
1990	エビノコ大殿の南方でⅠ期とⅡ期の掘立柱建物を確認	檀考研
1995	外郭北方の石組溝から「丁丑年」、「癸巳年」、「調」、「大費」などの木簡が出土	檀考研
2003	内郭北区画の大型掘立柱建物（南の正殿）を検出	檀考研
2005	内郭南の正殿のさらに北側から同規模の大型掘立柱建物（北の正殿）を検出	檀考研
2009	外郭北部において飛鳥宮最大規模の基幹水路跡及び飛鳥寺南の石敷遺構を検出	檀考研